

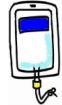




アービタックス+イリノテカンの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	8日目	9～14日目
アレルギー予防・吐き気止め	 30分	 30分	お休み
アービタックス (セツキシマブ) mg	 初回は120分、 2回目以降は60分	 60分	お休み
イリノテカン (イリノテカン) mg	 90分		お休み

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

＜血液検査からわかる副作用＞

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。



貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

低マグネシウム血症

血液中のマグネシウム量が減少することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、マグネシウムの量を確認します。

＜ご自身でわかる副作用＞

にきび様皮疹・皮膚乾燥

多くの方に認められる症状です。早ければ、治療開始数日～1週間後に顔や胸、背中にニキビのような皮疹がみられ、1～2週間頃にもっとも強く出るといわれています。次第によくなりますが、治療開始3～5週間後、皮膚の乾燥が強くなってきます。皮疹にはステロイド軟膏、乾燥には保湿剤を使います。

⇒皮膚症状を軽くするためにも、日頃から保湿を心がけてください。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

悪心・嘔吐

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

爪囲炎

治療開始4～8週間後に手足の爪の周りの皮膚に炎症が起こります。ひどくなると、爪の周りの肉が盛り上がり、強い痛みをとまいません。

⇒症状の軽いうちから早めにケアしていきましょう。保湿もあわせておこなうことが重要です。

口内炎

倦怠感

脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2～3週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出ることがあります。『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。



★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）
- ★「便が泥状か、完全に水のようにになっている」、「すぐに便意を感じるまたはしぶり腹がある」、「さしこむような激しい腹痛がある」、「トイレから離れられないほど頻回に下痢をする」、「便に粘液状のものが混じっている」（下痢）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。